



平成 24 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ン リ ッ
 代 表 者 の 代 表 取 締 役 三 浦 康 英
 役 職 氏 名 社 長 執 行 役 員
 (コード番号：9366 東証一部)
 問 合 せ 先 取 締 役 西 村 哲
 常 務 執 行 役 員
 電 話 番 号 0 3 - 3 4 7 1 - 0 0 1 1 (代表)

投資有価証券評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期におきまして、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理による投資有価証券評価損を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 10 月 21 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期における投資有価証券評価損

| | 単体 | 連結 |
|--|--------|--------|
| 平成 24 年 3 月期第 4 四半期会計期間(平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額 (= A - B) | 0 百万円 | 25 百万円 |
| (A)平成 24 年 3 月期(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額 | 15 百万円 | 40 百万円 |
| (B)直前四半期(平成 24 年 3 月期第 3 四半期)累計期間(平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額 | 15 百万円 | 15 百万円 |

※四半期における有価証券の評価方法は、[切放し方式]を採用しております。

※当社の決算期末は、3 月 31 日です。

2. 業績予想の修正について

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|-------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 16,880 | 百万円 610 | 百万円 470 | 百万円 △360 | 円 銭 △59.97 |
| 今回修正予想(B) | 16,250 | 360 | 180 | △420 | △69.96 |
| 増減額(B - A) | △630 | △250 | △290 | △60 | |
| 増減率(%) | △3.7 | △41.0 | △61.7 | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成23年3月期) | 15,945 | 593 | 602 | △1,151 | △191.82 |

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 13,240 | 百万円 530 | 百万円 470 | 百万円 △340 | 円 銭 △56.64 |
| 今回修正予想(B) | 12,860 | 360 | 230 | △350 | △58.30 |
| 増減額(B-A) | △380 | △170 | △240 | △10 | |
| 増減率(%) | △2.9 | △32.1 | △51.1 | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成23年3月期) | 12,045 | 517 | 564 | △1,264 | △210.66 |

修正の理由

連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響による国内景気の落ち込み、欧州債務危機問題に伴う世界経済の減速や円高・株安の進行、更にはタイの洪水被害の影響等に伴う貨物量の減少の影響を取り戻すまでには至らず、売上高は前回予想を下回る見込みであります。

また、新規事業所の開設及び営業体制強化に伴う費用の増加、並びに新たな事業所の取得等のためにシンジケートローン契約を締結したことによる諸費用の計上により、利益は前回予想を下回る見込みであります。

さらに、投資有価証券評価損の計上及び利益の減少の影響から、当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由であります。

※なお、当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

以 上